

4 婚姻

平成17年の婚姻件数は3,345組で前年の3,441組から96組減少した。婚姻率（人口千対）は4.5で前年に比べ0.1減少した。

婚姻率の年次推移をみると、第1次婚姻ブームである昭和22、23年は14.0前後と高かったが、以後急激に低下していった。その後わずかに増加に転じ昭和33年には、7.9まで回復する。また、戦後のベビーブームに生まれた子供が適齢期に達した昭和47年頃は上昇したが、その後は年々低下し、平成元年には史上最低の4.4を記録した（図8）。

平均初婚年齢は夫が29.1歳、妻が27.4歳である。

図8 婚姻率の年次推移

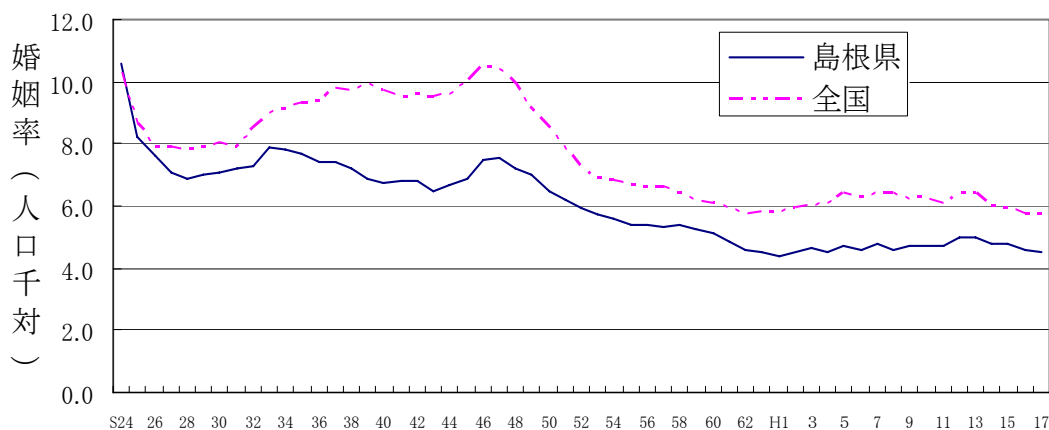


表6 平均初婚年齢の年次推移

	夫		妻	
	島根県	全国	島根県	全国
昭和 40	27.3	27.2	24.5	24.5
45	26.8	26.9	24.1	24.2
50	26.8	27.0	24.5	24.7
55	27.6	27.8	25.0	25.2
60	28.1	28.2	25.3	25.5
平成 2	28.4	28.4	25.7	25.9
3	28.4	28.4	25.8	25.9
4	28.4	28.4	25.7	26.0
5	28.4	28.4	25.9	26.1
6	28.3	28.4	25.8	26.2
7	28.4	28.5	25.9	26.3
8	27.3	28.5	26.1	26.6
9	28.3	28.5	25.2	26.4
10	28.4	28.6	26.4	26.7
11	28.3	28.7	26.3	26.8
12	28.3	28.8	26.6	27.0
13	28.4	29.0	26.6	27.2
14	28.7	29.1	26.9	27.4
15	28.8	29.4	27.0	27.6
16	29.0	29.6	27.2	27.8
17	29.1	29.8	27.4	28.0

5 離婚

平成17年の離婚件数は1,124件で前年の1,235組から111組減少した。離婚率（人口千対）は1.52で前年の1.66を0.14下回った。

離婚率の年次推移をみると、昭和42年までは低下傾向にあったが、その後は徐々に上昇し、昭和59年には戦後最高の1.00を記録した。その後増減を繰り返し、平成3年から再び増加していたが、平成16年から2年連続で減少している。また、全国平均と比べるとはるかに低くなっている。（図9）

図9 離婚率の年次推移

